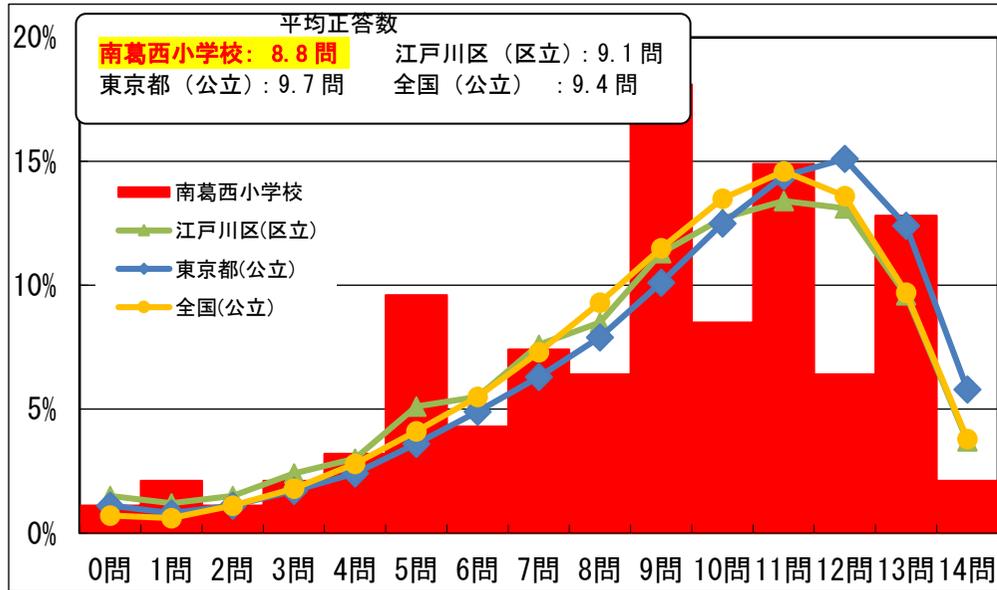


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】南葛西小学校

正答数分布



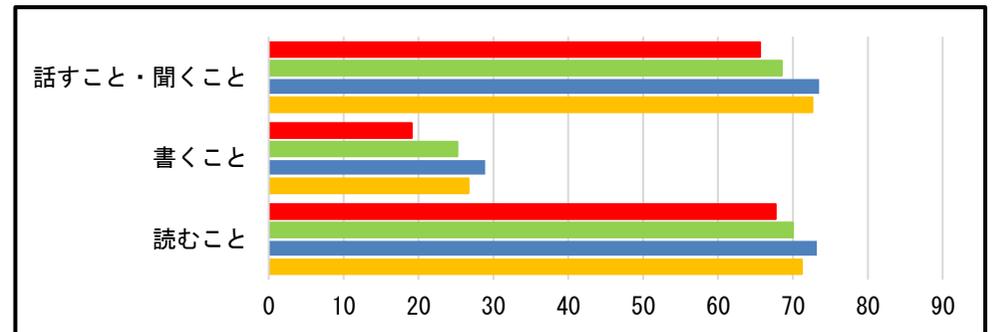
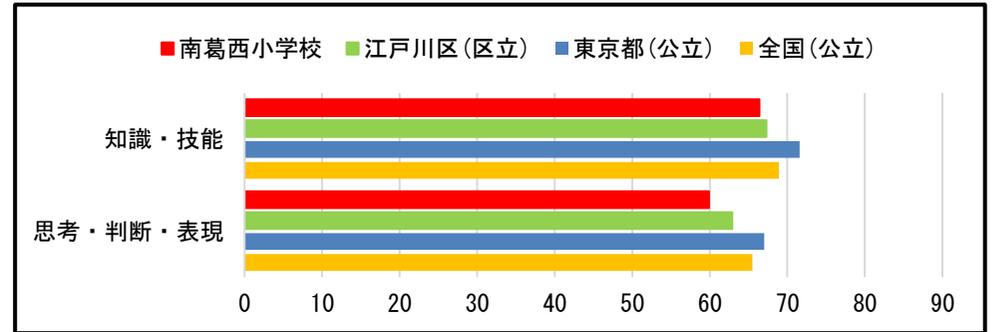
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
南葛西小学校	21.3	23.4	24.5	30.9
江戸川区(区立)	26.4	26.1	19.8	27.7
東京都(公立)	33.3	26.9	18.0	21.8
全国(公立)	27.1	28.1	20.8	24.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

南葛西小学校	63%
江戸川区(区立)	65%
東京都(公立)	69%
全国(公立)	67.2%
都との差	6ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

漢字などの基本的な「知識・技能」の習熟に加え、「思考・判断・表現」における応用的な学習にも課題が見られた。

既習漢字を振り返るため、日常的に漢字を適切に文章内で使うことを指導し、定期的にテストを実施して定着を図る。また、辞書を活用し、知らない言葉や漢字などをすぐに調べられるようにさせる。

問題解決型学習の定着を図り、思考力を伸ばす。学習の最後に振り返りや感想を書き、考えをまとめる力をつける。